



2021年7月29日

各 位

会 社 名 日華化学株式会社
 代表者名 代表取締役社長 江守 康昌
 (コード番号 4463 東証・名証第一部)
 問合せ先 取締役執行役員 管理部門長
 澤崎 祥也
 (TEL 0776-24-0213)

通期連結業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年2月12日に公表いたしました2021年12月期通期連結業績予想及び期末配当予想につきまして、下記の通り修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2021年12月期通期連結業績予想数値の修正 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(百万円)

| | 売 上 高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------------|--------|-------|-------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 43,500 | 1,500 | 1,500 | 1,300 | 82円60銭 |
| 今回修正予想 (B) | 46,500 | 2,200 | 2,300 | 1,900 | 120円66銭 |
| 増 減 額 (B-A) | 3,000 | 700 | 800 | 600 | — |
| 増 減 率 (%) | 6.9% | 46.7% | 53.3% | 46.2% | — |
| (ご参考) 前期通期実績 (2020年12月期) | 41,179 | 1,416 | 1,645 | 1,044 | 66円40銭 |

(2) 修正の理由

2021年12月期通期の連結業績予想につきましては、下記の理由により前回発表予想に対し増加となる見込みであります。

- ・2021年12月期上期(第2四半期累計期間)において、コロナ禍の影響を受けたものの、一部の事業分野で流通在庫の積み上げ等による想定以上の需要回復が見られ、加えて新規分野等での販売が伸長したことなどから当初計画に対し大幅な増収・増益となりました。
- ・一方、2021年12月期下期(第3四半期及び第4四半期)においては、コロナ禍の影響拡大や流通在庫の積み上げ一巡による需要減少が懸念されることに加え、原材料の高騰、活動費の一部増加が見込まれます。

2. 期末配当予想の修正について

(1) 修正の内容

| | 年間配当金 | | |
|------------------------------|--------|-------|--------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 合計 |
| 前回発表予想 (2021年2月12日発表) | | 6円00銭 | 12円00銭 |
| 今回修正予想 | | 8円00銭 | 16円00銭 |
| 当期実績 | 8円00銭 | | |
| (ご参考) 前年実績 (2020年12月期) | 4円00銭 | 6円00銭 | 10円00銭 |

(2) 修正の理由

当社は、各期の業績と将来の成長のために必要な投資や今後の事業展開等を総合的に勘案した上で、安定的な配当を行うことを基本方針としておりますが、2021年12月期通期の業績予想の修正に伴い、2021年12月期の期末配当予想につきましては、前回発表の「6円00銭」から「8円00銭」とし、一株当たり年間配当を「16円00銭」（中間配当8円00銭）とする予定です。

(注) 本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績などは、今後さまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上